

記念式に出席するのはなぜですか

「このことを行っていき、私のことを思い起こしなさい」。ルカ 22:19

20 番の歌 あなたは貴重な子を与えてくださった

何を学ぶか*私たちは、天で生きる希望を持っていますが、樂園になった地上で生きる希望を持っていますが、毎年、記念式に出席することを楽しみにしています。この記事では、私たちが記念式に出席する理由について聖書から考え、出席することがどのように私たちのためになるかも考えます。

1-2. (ア) 私たちは、亡くなった愛する人のことを特にどんな時に思い出しますか。(イ) イエスは亡くなる前の晩に何をしましたか。

(ア) 愛する人を亡くした場合、それからどれほど時間がたっても、その人のことを覚えているものです。毎年、その人が亡くなった日がやって来ると、いろいろなことを思い出すことでしょう

2 私たちは年に 1 度、世界各地で非常に大勢の人たちと一緒に、私たちが深く愛する方、イエス・キリストの死を記念するために集まります。(ペテロ 1:8 キリストに信仰を抱き、言葉にできないほどの素晴らしい喜びを感じて歓喜) その時、私たちは、イエスが私たちを罪と死から自由にするために、自分の命を贖いとして与えてくださったことを思い出します。(マタイ 20:28 人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました) イエスは、自分の弟子たちがイエスの死を思い出すことを願っていました。それで、亡くなる前の晩に特別な食事を取り決め、「このことを行っていき、私のことを思い起こしなさい」と命じました。*この言葉は、「私の記念としてこのように行いなさい」とも訳されています。(「聖書協会共同訳」，日本聖書協会)
(ルカ 22:19 このことを行っていき、私のことを思い起こし(*記念し)なさい)

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 キリストの死の記念式に出席する人たちのうち、天で生きる希望を持っている人は少数です。非常に大勢の人たちは、地上で生きる希望を持っています。この記事では、① どちらの希望を持っている人たちも毎年記念式に出席したいと思っているのはなぜかを考えます。また、② 出席することがどのように私たちのためになるかも考えます。ではまず、天に行くよう選ばれた人たちが記念式に出席するのはなぜかを取り上げましょう。

I. 天に行くよう選ばれた人たちが出席するのはなぜか

4. 天に行くよう選ばれた人たちが、記念式でパンを食べ、ぶどう酒を飲むのはなぜですか。

4天に行くよう選ばれた人たちは、毎年、記念式に出席して、**パンを食べ、ぶどう酒を飲みます**。そうするのがふさわしいと言えるのはなぜでしょうか。その答えを知るために、イエスが亡くなった前の晩の出来事を考えてみましょう。**過ぎ越しの食事が終わった後、イエスは特別な食事を取り決め**ました。それは、今では**主の晩餐**と呼ばれています。イエスは、11人の忠実な使徒たちにパンとぶどう酒を回し、それを食べ、飲むようにと言いました。そして、イエスは使徒たちに対して、**新しい契約**と**王国契約**について話しました。***新しい契約と王国契約について詳しくは、「ものみの塔」2014年10月15日号15-17ページの「あなた方は『祭司の王国』となる」という記事を参照（ルカ22:19, 20**また、イエスはパンを取り、感謝の祈りをしてから、それを割って渡し、こう言った。「これは、**あなたたちのために与えられる私の体**を表しています。このことを行っていき、**私のことを思い起こし(*記念し)なさい**」。20また、食事が済んでから、杯についても同じようにして、こう言った。「この杯は**私の血による新しい契約**を表しています。それはあなたたちのために注ぎ出されることになっています。**28-30**私は、天の父が私と契約を結んだように、**あなたたちと王国のための契約を結び、30**あなたたちが**私の王国で私と一緒に食卓に着いて食べたり飲んだりし、王座に座ってイスラエルの12部族を裁くように）**これらの**契約**のおかげで、使徒たちを含む**14万4000人**が天で王また祭司として仕えることができるようになりました。（**啓5:10**彼らを、私たちの神に仕える王および祭司とし、彼らは王として地上を治める。**14:1**子羊と共に**14万4000人**の者たちがいて、**彼らの額には子羊の名とその父の名が書かれていた**）これらの**契約の当事者**である、天に行くクリスチャンのうち地上に残っている人たちだけが、記念式で**パンを食べ、ぶどう酒を飲み**ます。

5. 天に行くよう選ばれた人たちは、自分の希望についてどんなことを理解していますか。

5天に行くよう選ばれた人たちが**記念式に出席したい**と思う理由は、**ほかにも**あります。この式に参加するなら、**自分の希望についてじっくり考えることができる**のです。天に行く人たちは、エホバから本当に素晴らしい希望を与えられています。**不滅性**と**不朽性**を与えられ、何と**エホバ神の前で、王となったイエス・キリストや天に復活したほかの人たちと一緒にエホバに仕える**ことができるのです。（**コリ一15:51-53**死者は朽ちないものとして生き返らせられ、私たちは変えられるのです。53朽ちるものは不朽性を身に付け、死んでいくものは不滅性を身に付けなければなりません。**ヨハ一3:2**神がご自分を示す時に私たちが神のようなものになるということです。神をありのままに見る）天に行く人たちは、こうした**素晴らしい機会が開**かれていることを**理解**しています。**死に至るまで忠実を保つ**なら、天に入ることができるのです。（**テモ二4:7, 8**私は立派に戦いました。競走を最後まで走りました。クリスチャンの信条を守りました。8今から後、私は正義の冠を授けられることになっています。その冠は、正しく裁く方である主が、定めの日に報いとして与えてくださる）こうした**希望について考える**ことは、天に行く人たちに**大きな喜びを**もたらします。（**テト2:13**幸福な希望が実現し、**偉大な神と救い主イエス・キリストが栄光に輝いて現れるのを待つ**）では、「**ほかの羊**」についてはどうでしょうか。（**ヨハ10:16**私にはほかの羊がいますが、この囲いのものではありません）ほかの羊が記念式に出席するのはなぜでしょうか。

Ⅱ. ほかの羊が出席するのはなぜか

6. ほかの羊が毎年、記念式に出席するのはなぜですか。

6ほかの羊は、パンを食べたり、ぶどう酒を飲んだりはしませんが、**見守る者として記念式に出席**します。**1938年**、特に地上で生きる希望を持つ人たちに向けて、初めて記念式への招待がなされ

ました。「ものみの塔」（英語）1938年3月1日号にはこうあります。「[ほかの羊]が記念式に出席してその様子を見守るのは、極めてふさわしいことである。.....彼らも記念式に出席することから大きな喜びを味わうに違いない」。結婚式に出席するゲストが喜びを味わうのと同じように、ほかの羊も見守る者として記念式に出席することから喜びを味わいます。

7. ほかの羊が記念式の話を楽しみにするのはなぜですか。

7 ほかの羊も、自分の希望についてじっくり考えます。そして、記念式の話を楽しみにしています。その話では、千年統治の間に王であるキリストや共同統治者である14万4000人が、忠実な人たちのためにどんなことを行うかが多く扱われるからです。14万4000人は、イエス・キリストの指導の下、地球をパラダイスに変え、人間を完全な状態へ引き上げます。見守る者として記念式に出席する大勢の人たちは、イザヤ35章5, 6節「その時、目が見えない人は見えるようになり、耳が聞こえない人は聞こえるようになる。6 その時、足が不自由な人は鹿のように跳びはね、口が利けない人(d*人の舌)は敏声を上げる。荒野に水が湧き出て、砂漠平原に川が流れる。65章21-23節「人々は家を建てて住み、ブドウ園を造って実を食べる。22 建てた家に他人が住むことはなく、植えた物を他人が食べることもない。私の民の寿命は木の寿命のようになり、私が選んだ者たちは働く喜びを存分に味わう。23 彼らは無駄に(*無意味に)労苦することはない、生まれる子たちが苦しむこともない。彼らとその子孫は、エホバに祝福された民だからである、啓示21章3, 4節「神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭き去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったなどの預言が実現する時のことについて考え、期待に胸を膨らませます。自分や愛する人が新しい世界にいる様子をイメージすると、将来に対する希望とエホバに仕え続けようという決意が強まります。(マタ24:13「終わりまで耐え忍んだ人が救われます。ガラ6:9「諦めずに立派なことを行い続けましょう。諦めない(*疲れ果ててしまわない)なら、やがて刈り取ることにになります)」

8. ほかの羊が記念式に出席したいと思う別の理由は何ですか。

8 ほかの羊は、別の理由でも記念式に出席したいと思っています。天に行く人たちを愛し、支えたいと思っていますのです。聖書には、天に行く人々と地上で生きる希望を持つ人たちが固い絆で結ばれることが予告されていました。どんな預言があるか、幾つか見ていきましょう。

9. ゼカリヤ8章23節の預言から、天に行く人たちに対するほかの羊の気持ちについてどんなことが分かりますか。

9 ゼカリヤ8:23「大軍を率いるエホバはこう言う。『その時、あらゆる言語の国々から来た10人の人が、1人のユダヤ人の長い服(*服の端)をつかむ。しっかりつかんで、「あなたたちと一緒に行かせてほしい。神があなたたちと共にいる、と聞いたからだ」と言う』」を読む。この預言は、天に行く兄弟姉妹に対するほかの羊の気持ちを表しています。「1人のユダヤ人」と「あなたたち」という表現はどちらも、天に行くクリスチャンのうち地上に残っている人たち全体を指します。(ロマ2:28, 29「内面がユダヤ人である人が真のユダヤ人」) また、「あらゆる言語の国々から来た10人の人」という表現は、ほかの羊を指します。ほかの羊は、天に行く人たちを「しっかりつかむ」、つまり深い愛情を示し、清い崇拝を共に行います。ほかの羊は、天に行く人たちと共に記念式に出席することによって、天に行く人々への深い愛情を表すのです。

10. エホバは、[エゼキエル 37 章 15-19, 24, 25 節](#)の預言を実現させるために、どんなことを行ってきましたか。

10 [エゼキエル 37:15-19](#) 17 そして 2 本の棒を一緒に持ち、あなたの手の中で 1 本の棒になるようにしなさい。 [, 24, 25](#) 私に仕えるダビデが彼らの王となり、彼らは皆 1 人の牧者に導かれる。彼らは私の法規に従って歩み、私の法令を注意深く守る。 25 そして、私に仕えたヤコブに私が与えた土地、あなたたちの父祖たちが住んだ土地に住む。彼らとその子供と孫たちはそこに永遠に住み、私に仕えるダビデが永遠に彼らの長となるを読む。この預言の実現として、エホバは天に行く人たちとほかの羊を非常に強い絆で結び合わせてきました。この預言には、2 本の棒が出てきます。1 本は「ユダの棒」で、天に行く人たちを表しています。（古代イスラエルでは、ユダ族から王が選ばれました。）もう 1 本は「エフライムの棒」で、地上で生きる希望を持つ人たちを表しています。* [エゼキエル 37 章](#)の 2 本の棒の預言について詳しくは、[「エホバの清い崇拜 ついに回復される！」130-135 ページ 3-17 節](#)を参照。エホバは、天に行く人たちとほかの羊を 1 つに結び合わせることによって、2 本の棒を「1 本の棒」にしています。王であるキリスト・イエスの下で、この 2 つのグループは一致してエホバに仕えています。毎年、天に行く人たちとほかの羊は、別のグループとしてではなく 1 つのグループとして記念式に出席します。こうして、「1 人の羊飼ひ」の下で「1 つの群れ」となっているのです。（← [ヨハ 10:16](#)）

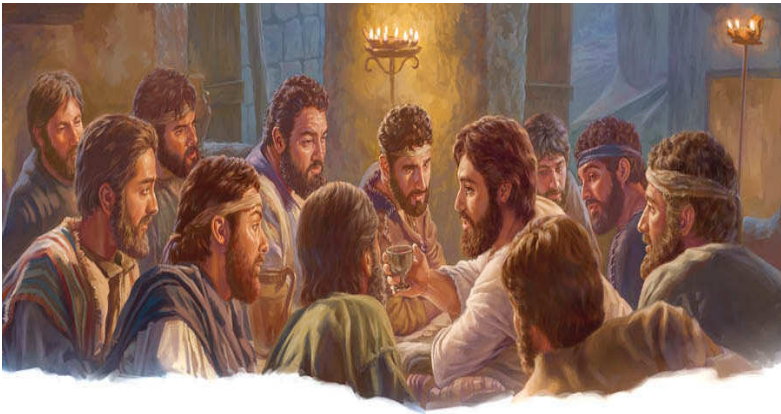
11. [マタイ 25 章 31-36, 40 節](#)に出てくる「羊」は、どのようにキリストの兄弟たちを支えていますか。

11 [マタイ 25:31-36](#) 『さあ、私の父に祝福された人たち、世が始まって以来あなたたちのために用意されている王国を受けなさい。 35 私が飢えたと食べ物を与え、喉が渇くと飲み物を与えてくれたからです。よそから来ると温かく迎え、 36 裸でいると服を与えてくれました。病気になると世話をし、牢屋にいと訪問してくれました』、[40](#) 『実のところ、これら私の兄弟のうち最も目立たない人の 1 人にしたのは、それだけ私にしたのです』を読む。この例えに出てくる「羊」とは、終わりの時に生活していて、地上で生きる希望を持っている正しい人々を表しています。この「羊」は、キリストの兄弟のうち地上に残っている人々を支え、彼らが大きな責任を果たせるように助けています。その責任とは、伝道や人々を弟子とする活動を世界中で行うことです。（[マタ 24:14](#) 王国の良き知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。[28:19, 20](#) それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、 20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい）

12-13. ほかの羊は、キリストの兄弟たちを支えるために、さらにどんなことを行いますか。

12 記念式までの数週間、ほかの羊はさまざまな方法でキリストの兄弟たちを支えます。例えば、関心を示す人々を記念式に招待するために、世界中で大々的なキャンペーン活動を行います。（「[記念式の時期に備えていますか](#)」の囲みを参照。）また、世界中の会衆で記念式をきちんと行えるように準備を整えます。会衆の中に、天に行くよう選ばれた兄弟姉妹がいなくてもです。ほかの羊は、こうした方法でキリストの兄弟たちを支えられることを本当にうれしく思っています。また、キリストの兄弟たちのために何かを行う時、イエスがそれを、自分のためにした、と見なしてくれることを理解しています。（[マタ 25:37-40](#) 『実のところ、これら私の兄弟のうち最も目立たない人の 1 人にしたのは、それだけ私にしたのです』）

13 どちらの希望を持っているとしても、**私たち全てが記念式に出席する理由はほかにもあります**。幾つか考えてみましょう。



記念式の時期に備えていますか

記念式の前

- この大切なイベントへの**招待キャンペーンにできる限り参加**する。**招待**したい人の**リスト**を作る。
- 記念式の時期に**補助開拓**ができるかどうか、よく祈って考える。
- **記念式**、**贖い**、**エホバやイエスが示してくださった愛**に対する**感謝を深める**のに役立つ**記事や資料を読み返す**。例えば、[「エホバに近づきなさい」の本の第14章と第23章](#)、[「来て、わたしの追随者になりなさい」の本の第17章](#)を読むことができる。
- 「聖書を毎日調べる」に載せられている**記念式の聖書朗読の予定**に従う。時間を取って、**イエスが亡くなる前の数日間の出来事**や、**イエスの死と復活に関する聖書の記述**をじっくり考える。

記念式の夜

- **早めに会場に行き**、**招待に応じてやって来た人**たちや、**不活発な兄弟姉妹**を**温かく歓迎**する。
- **話をよく聞き**、**話し手が聖句を読んで説明**する時には、**自分の聖書を開いて、見る**。
- **式が終わったら**、**招待に応じてやって来た人に話し掛ける**ようにする。何か**質問**があるようなら、それに**答える**。相手に関心を示すなら、自分か誰かがその人に**再び会って関心を高める**ようにする。

記念式の後

関心を示した人を**訪問**し、[「いつまでも幸せに暮らせます」](#)の冊子で**聖書レッスンをする**よう勧める。



Ⅲ. 私たち全てが出席するのはなぜか

14. エホバとイエスは、私たちに対する大きな愛をどのように示してくださいましたか。

14 私たちは、エホバとイエスが示してくださった愛に感謝している。エホバは、さまざまな方法で愛を示してくださっています。その中でも特に際立っているのは、大切な独り子イエスを遣わし、私たちのために苦しんで死ぬようにしたことです。（ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようになりました）イエスも、進んで命を差し出すことによって、私たちに対する大きな愛を示しました。（ヨハ 15:13 友のために自分の命をなげうつこと、これより大きな愛はありません）私たちは、エホバとイエスの愛に十分にお返しすることはできませんが、生き方によって感謝を表すことはできます。（コロ 3:15 キリストによる平和が心に満ちる(*心を制御する)にしましょう。皆さんは1つの体となって平和を得るために招かれたからです。感謝を表しましょう）また、記念式に出席することによって、エホバとイエスの愛を思い起こし、エホバとイエスを愛していることを示すことができます。

15. 天に行く人たちとほかの羊が、贖いという贈り物に深く感謝しているのはなぜですか。

15 私たちは贖いという贈り物に深く感謝している。（マタ 20:28 人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました）天に行く人たちは、贖いの犠牲に心から感謝しています。この犠牲によって素晴らしい希望が実現するからです。天に行く人たちが贖いに信仰を持っているので、エホバは彼らを正しいと認め、養子にしました。（ロマ 5:1 私たちは信仰のゆえに正しいと認められたのですから、主イエス・キリストを通して神との平和を楽しみましょう(if*平和な関係にあります); 8:15-17 皆さんは、聖なる力により奴隷とされて再び恐れを抱いたのではなく、聖なる力により養子とされたのであり、その力によって私たちは「アバ(*父よという意味へ語/ア語)、父よ!」と叫びます。16 私たちが神の子供であることを、聖なる力(ギリ語プネウマ)が私たちの精神(ギリ語プネウマ)と共に証明(*証言)します。17 子供なのですから、相続人でもあります。実に神の相続人(神から財産を受け人という意味で使われている。財産とは、王権や永遠の命といった、神からの祝福を表している)であり、キリストとの共同相続人です。ただし、共に栄光を受けるため、共に苦しむならばのことです、23 それだけではありません。これから来るもののしるし(d*初物)である聖なる力を持つ私たちも、心の中でうめきつつ、贖いによって自分の体から解放されて養子になることを一心に待っています)ほかの羊も、贖いに感謝しています。贖いに信仰を持っているので、エホバの前で清い立場を得、エホバに神聖な奉仕を捧げ、「大患難」を生き残るという希望を持つことができます。（啓 7:13-15 これは大患難から出てくる人たちです。この人たちは、自分の長い衣服

を子羊の血で洗って白くしました。15 そのため、神の王座の前において、神殿で昼も夜も神に神聖な奉仕をしています。そして、王座に座っておられる方は、この人たちをご自分の天幕で覆います) 天に行く人たちもほかの羊も贖いに感謝しているので、毎年、記念式に出席します。

16. 私たちが記念式に出席するもう 1つの理由は何ですか。

16 私たちが記念式に出席するのは、イエスに従いたいと思っているからでもあります。イエスは、記念式を取り決めた晩に、「このことを行っていき、私のことを思い起こしなさい」と命じました。私たちは、天に行く希望を持っているとしても、地上で生きる希望を持っているとしても、この命令に従いたいと思っています。(コリ 11:23, 24)

IV. 記念式に出席することは私たち全てのためになる

17. 記念式に出席することは、エホバといっそう親しくなる上でどのように助けになりますか。

17 エホバといっそう親しくなれる。(ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます) これまで考えてきた通り、記念式に出席するなら、エホバが与えてくださっている希望やエホバの大きな愛についてじっくり考えることができます。(エレ 29:11 エホバはこう宣言する。『私は、あなたたちのために自分が行おうとしている(*考えている)ことをよく知っている。あなたたちに災いではなく平和をもたらし、良い将来と希望を与えたいと思っている。ヨハ 4:8-10 愛さない人は、神をよく知りません。神は愛だからです。9 神は独り子を世に遣わし、その方によって私たちが命を得られるようにしてくださいました。このことから、神が私たちを愛してくださっていることが明らかになりました。10 私たちが神を愛したというより、神が私たちを愛し、私たちの罪を償う(*私たちを神と和解させる)犠牲としてご自分の子を遣わしてくださいました。これこそが愛です) そうしたことを思い巡らすなら、エホバへの愛は深まり、エホバとの絆は強まります。(ロマ 8:38, 39 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません)

18. イエスの手本についてじっくり考えると、どんな気持ちになりますか。

18 イエスに倣いたいという気持ちになる。(ペテ 2:21 その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう手本を示し) 記念式までの数日間、私たちは、イエスが死ぬ前の最後の 1 週間の出来事や、イエスの死や復活についての聖書の記述を読みます。そして、記念式の話を通して、私たちに対するイエスの愛について考えます。(エフエ 5:2 愛を抱いて歩んでいきましょう。キリストも私たち(if*皆さん)を愛し、自分を神への犠牲、甘い香りのする捧げ物として、私たち(if*皆さん)のために差し出してくださいました。ヨハ 3:16 私たちが愛を知ったのは、イエスが私たちのために命をなげうってくださいましたからです。それで、私たちも兄弟のために命をなげうたなければなりません) イエスが示した自己犠牲について読んでじっくり考えると、ぜひ「[イエス]が歩んだ通りに歩んでい」きたい、という気持ちになります。(←ヨハ 2:6 その方とずっと結び付いていると言う人は、その方が歩んだ通りに歩んでいかなければなりません)

19. 神にずっと愛されるために、どんなことができますか。

19 **神にずっと愛されたいという気持ちが強まる。**（ユダ 20, 21 愛する皆さんは、極めて聖なる信仰によって自分を力づけ、神の聖なる力(*)に導かれつつ祈ってください。21 私たちの主イエス・キリストの憐れみによる永遠の命を待ちながら、神に愛され続けるためです）**神にずっと愛されるためには、神に従い、神のお名前を神聖なものとし、神に喜んでいただくよう、できる限りのことをする必要があります。**（格 27:11 わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ。私をあざける(*)に挑む者に私が答えるため。マタ 6:9 このように祈らなければなりません。『天におられる私たちの父よ、お名前が神聖なものとされますように。ヨハネ 5:3 神を愛するとは、神のおきてを守ることです。神のおきては重荷ではありません）**記念式に出席するなら、こうした面で毎日努力したいという気持ちが強まります。そのように努力するなら、いわばエホバに対して、「あなたにいつまでも愛されたいと思っています」と言っていることになるのです。**

20. 私たちが**記念式に出席すべきなのはなぜ**ですか。

20 私たちは天で生きる希望を持っているとしても、地上で生きる希望を持っているとしても、**記念式に出席すべき十分の理由**があります。私たちは**毎年、記念式のために集まって、私たちが愛する方、イエス・キリストの死を思い起こします。そして何よりも、エホバがイエスを贖いとして与えて、私たちに大きな愛を示してくださったことを思い起こします。**今年の記念式は、2022年4月15日金曜日の夜に行われます。**私たちは、エホバと独り子イエスを愛しています。**ですから、ぜひ**記念式に出席できるように**しましょう。

どのように答えますか

I. 天に行くよう選ばれた人たちが記念式に出席するのはなぜですか。

- ・S04 新しい契約と王国契約の当事者で、天に行くクリスチャンのうち地上に残っている人たちだけが、記念式でパンを食べ、ぶどう酒を飲む
- ・S05 不滅性と不朽性を与えられ、何とエホバ神の前で、王となったイエス・キリストや天に復活したほかの人たちと一緒にエホバに仕えるという自分の希望についてじっくり考える

II. ほかの羊が記念式に出席するのはなぜですか。

- ・S06 結婚式に出席するゲストが喜びを味わうように、見守る者として記念式に出席し、大きな喜びを味わう
- ・S07 地球をパラダイスに変え、人間を完全な状態へ引き上げられる自分の希望についてじっくり考え、将来に対する希望とエホバに仕え続けようという決意が強まる
- ・S08-09 天に行く人たちを愛し、支えたいと思っているので、共に記念式に出席することによって、天に行く人たちへの深い愛情を表す

IV. 記念式に出席することは、私たち全てにとってどのようにためになりますか。

- ・S17 エホバが与えてくださっている希望やエホバの大きな愛についてじっくり考え、エホバへの愛は深まり、エホバとの絆は強まる。エホバといっそう親しくなれる
- ・S18 イエスが示した自己犠牲について読んでじっくり考えると、ぜひイエスに倣いたいという気持ちになる
- ・S19 神にずっと愛されるためには、神に従い、神のお名前を神聖なものとし、神に喜んでいただくよう、できる限りのことをする必要があります。記念式に出席するなら、こうした面で毎日努力したい、神にずっと愛されたいという気持ちが強まる